

2020年12月20日
祈りの時
イザヤ11章1～9節

11:1 エッサイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ。

11:2 その上に、主の霊がとどまる。それは知恵と悟りの霊、はかりごとと能力の霊、主を知る知識と主を恐れる霊である。

11:3 この方は主を恐れることを喜び、その目の見るところによってさばかず、その耳の聞くところによって判決を下さず、

11:4 正義をもって寄るべのない者をさばき、
公正をもって国の貧しい者のために判決を下し、
口のむちで国を打ち、くちびるの息で悪者を殺す。

11:5 正義はその腰の帯となり、真実はその
胴の帯となる。

11:6 狼は子羊とともに宿り、ひょうは子やぎとともに伏し、
子牛、若獅子、肥えた家畜が共にいて、
小さい子どもがこれを追っていく。

11:7 雌牛と熊とは共に草をはみ、その子らは共に伏し、獅子も牛のようにわらを食う。

11:8 乳飲み子はコブラの穴の上で戯れ、乳離れした子はまむしの子に手を伸べる。

11:9 わたしの聖なる山のどこにおいても、これらは害を加えず、そこなわない。主を知ることが、海をおおう水のように、地を満たすからである。

1 今日にはクリスマス礼拝の日です。イザヤ11章のクリスマス預言の所からクリスマスの恵みを黙想して祈りましょう。1節には「エッサイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ。」と書かれエッサイの子、ダビデの子孫から救い主が生まれる預言がされています。イエス様の事を根株から出る若枝と書かれています。イザヤ6章ではこの根株は切り倒された根株です。

イザヤ53章では砂漠から出てくる若枝と書いてあります。イエス様は希望のない切り倒されたところ、砂漠のような不毛の時代にお生まれになり希望をもたらされました。今もイエス様は砂漠に芽生える若枝のように私たちに希望や夢、機会を与えてくださることを感謝し、期待して祈りましょう。

2 2節「その上に、主の霊がとどまる。それは知恵と悟りの霊、はかりごとと能力の霊、主を知る知識と主を恐れる霊である。」イエス様に宿る6つの霊が書かれています。体力や武力、経済力や学力、権力や政治力ではなく、神様から下る霊の力、知恵でイエス様は救い主のみわざをされ、人を生まれ変わらせ、世界を変えてこられました。この霊はイエス様を信じる者に注がれています。私たちも肉の力ではなく、御霊の力によって証し人として歩めるように、御霊の満たしを求め祈りましょう。

3 6～9節には様々な動物が出てきます。牙や毒を持つ凶暴な動物と、牛や羊のような優しい動物や子供、乳飲み子という弱い者が共存しています。ライオン、コブラ、マムシなどは凶暴な陰険な罪びとを表しています。メシヤが来られ、救われるとマムシのような陰険な人も変えられて幼子、乳離れした子に危害を加えない人に生まれ変わります。だれでもキリストのうちにいるなら変えられて新しくされます。私たちがこのように変えられたことを感謝しましょう。私たちの周りの方々も救われて変えられるように祈りましょう。

4 9節には「わたしの聖なる山のどこにおいても、
これらは害を加えず、そこなわない。主を知ることが、
海をおおう水のように、地を満たすからである。」主を知ること、イエス様を知り、信じ、委ねて
歩む時にこの変革の御業が起こります。ホセアは
「私たちは、知ろう。主を知ることを切に追い求め
よう。主は暁の光のように、確かに現れ、大雨の
ように、私たちのところに来、後の雨のように、地を
潤される。」と勧めてています。主を知ることを祈り
求めましょう。主イエス様を深く知って、私たちの
罪の性質が変えられ聖められるように祈りましょう。

12月第4の主の日の礼拝、
アドベント第4のクリスマス礼拝です。
心からのクリスマス礼拝をおささげしましょう。
寒い暗い時代に輝く星に照らされて
イエス様は来てくださいました。
この時代、教会が輝き、
クリスチャン一人一人も主の栄光を受けて
輝いて歩みましょう。
この一年の恵みを心から感謝しましょう。

寒さ厳しい季節となりました。
礼拝や他の集会も感染から守られるように。
主からの知恵と力が与えられてこの季節、
全員元気に乗り越えられるように
祈りましょう。

会堂の礼拝、リモートの礼拝、ともども
霊と真をもって一つとなって

主を心からの礼拝をささげましょう。

日々のデボーション、聖書通読、
個人の礼拝、家庭礼拝が祝福されるように
祈りましょう。

子供たちが守られるように祈りましょう。
風邪、インフルエンザ、誘惑から守られるように。
学校生活が守られ、教会学校が祝福され、子
供クリスマス集会が祝福されるように祈りましょう。

一人一人の仕事、経済が守られ祝福されるよ
うに。

この一週間元気に守られ、
又来週元気に主を礼拝できるように。

主の祈り

天にまします我らの父よ
願わくは御名をあがめさせたまえ
御国を来たらせたまえ
御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ
我らの日用の糧を今日も与えたまえ
我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく
我らの罪をも赦したまえ
我らを試みにあわせず
悪より救いいだしたまえ
国と力と栄えとは
限りなく汝のものなればなりアーメン